

# 中国法定感染症発病概況 2017年7月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.  
リサーチ・コンサルティング部門

## ■発病総数は前月比-0.1%で、過去同月とも同程度

当月発病総数は 801,377 例であり、前月比-0.1%と、前月と同程度。過去同月比で比較すると、過去平均（過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均）比は+8.6%であり、過去平均標準偏差（SD）は、+0.5であり、発病総数自体は例年と同程度である。（図表1、図表2、図表3、図表4）

## ■類型別でも、過去同月と同程度

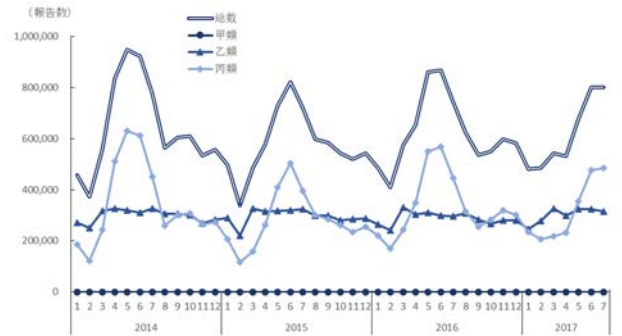
類型（甲乙丙）別\*1にみると、甲類は先月報告はなかったが、当月はコレラの報告が3例ある。

乙類は 315,758 例あり、前月比-2.8%。過去平均比+1.9%で、過去平均SD+0.6であり、例年と同程度であった。

丙類は 485,616 例あり、前月比+1.8%。過去平均比は+13.5%で、過去平均SD+0.5と例年と同程度であった。（図表1、図表2、図表3、図表4）

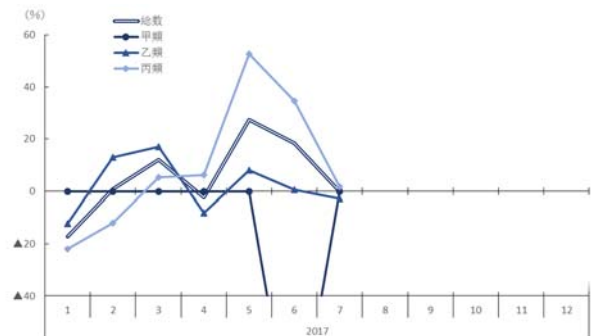
\*1) 中国は、39の感染症を甲類2（ペスト、コレラ）、乙類26、丙類11に分類。2013年11月1日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザA(H7N9)を追加。2016年1月からは、ウイルス性肝炎の内訳にD型肝炎を追記。（本資料のウイルス性肝炎は、A型、B型、C型、D型、E型、および、その他肝炎の合算。）

図表1 発病数



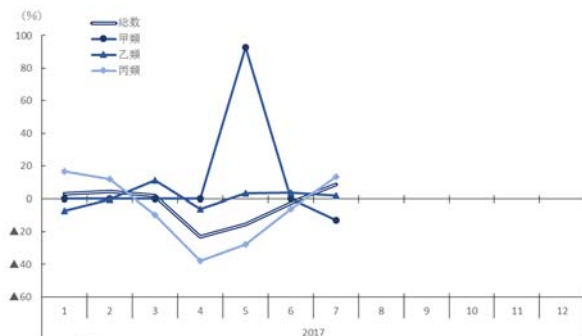
(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表2 発病数（前月比）



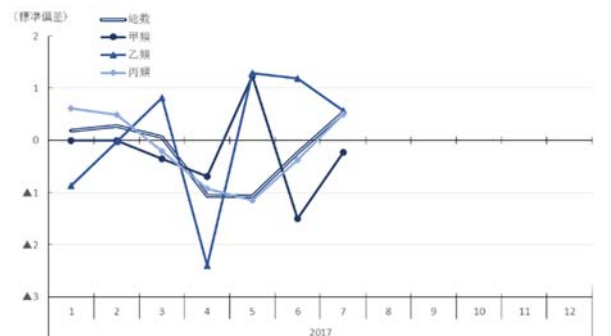
(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表3 発病数（過去平均比）



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成  
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均

図表4 発病数（過去平均標準偏差）

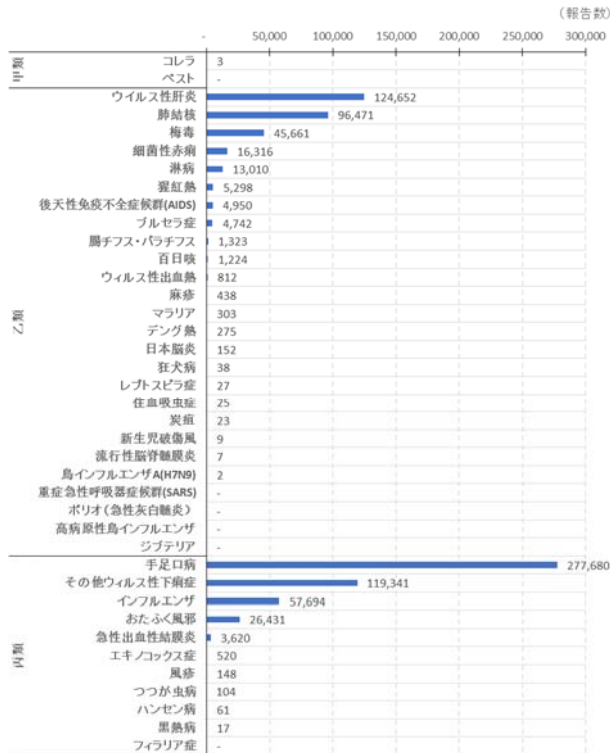


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成  
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均

■発病数最多は手足口病だが例年同様、鳥インフルエンザ A(H7N9)も例年同程度

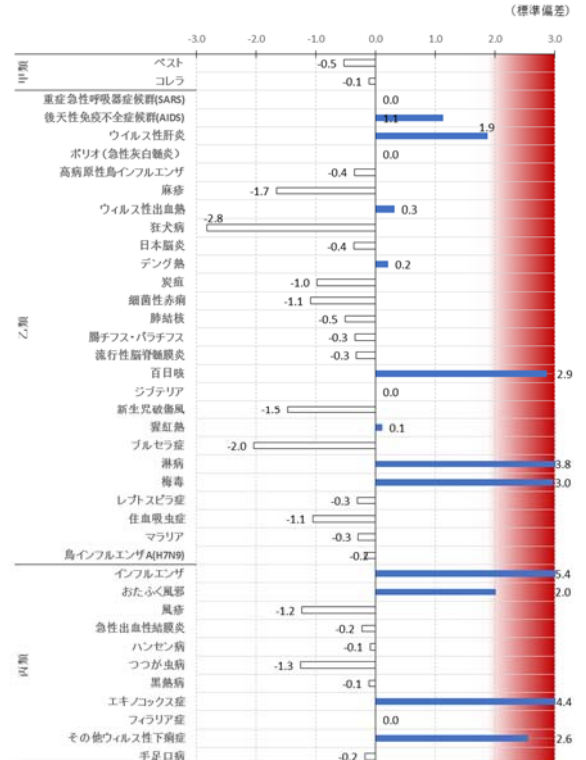
感染症別では、手足口病が277,680例と最も多いが、過去平均SDは-0.2であり例年と同程度の発生数である。また、今年は今月まで、例年より大幅に発生(1月から半年間、過去平均SD+2.0以上)していた鳥インフルエンザ A(H7N9)は、過去平均SD-0.2となり例年と同程度となった。(図表5、図表6)

図表5 発病数  
〈 当月発病数順 (降順) 〉



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表6 発病数 (過去平均標準偏差)  
〈 法定感染症統計記載順 〉



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成  
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均

■例年より大幅に発生した感染症は7つ

当月例年より非常に多く発生した(過去平均SDが+2.0を超えた)ものは7例。(1)インフルエンザ、(2)エキノコックス病、(3)淋病、(4)梅毒、(5)百日咳、(6)その他ウィルス性下痢症、(7)おたふく風邪の7つ。前月からは、鳥インフルエンザ A(H7N9)、後天性免疫不全症候群(AIDS)、ウイルス性肝炎、猩紅熱の4つが外れ、新たに、1つ(インフルエンザ)が該当した。(図表6)

■インフルエンザが急増、淋病は5か月連続して例年より非常に多い

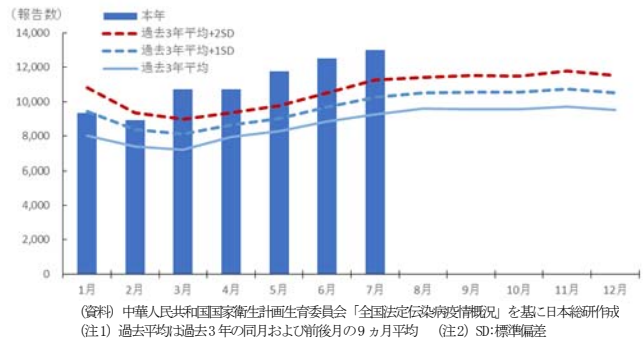
インフルエンザは、57,694例（前月比+35,381例）と前月の約2.6倍。過去平均SDは+5.4であり、これまでの傾向と異なり当月は非常に多い。（図表7）

また、淋病は13,010例発生し過去平均SDは+3.8と例年より非常に多く発生しており、この状況が今年の3月～7月の5ヵ月間連続している。（図表8）

図表7 発病数（インフルエンザ）



図表8 発病数（淋病）



本資料は情報提供を目的に作成されたものであり、取引の誘引を意図したものではありません。また、2017年8月25日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、内容に誤りがないことを保証するものではなく、情報の正確性・完全性・網羅性・商用性については、一切の保証をするものではない。